

竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦



竹の子会会報

No.595

竹の子会総務委員会

平成30年9月6日

会員オリエンテーション

日時：平成30年7月13日（金） 場所：青年の家



教養委員会
副委員長

今西 勇人

皆様、こんにちは。今期、教養委員会の副委員長を務めさせていただいております、第60期入会の今西勇人です。

去る7月13日（金）に会員オリエンテーションが行われました。今期初めて委員長を務める後藤委員長のもと、委員会メンバーが集まり試行錯誤しながら事業計画をすすめました。なかなか集まる時間も少なく不安な気持ちもありましたが何とか当日を迎える事が出来ました。今期は青木大輔君、日比篤彦君の2名が新入会員として入会する事となりました。

会員オリエンテーションは每期スタートの事業という事もあり、新入会員のお二人はもちろん初めての参加で緊張していたかと思いますが、現役会員も始めはぎこちなく緊張していました。しかし、それぞれの委員会の紹介や自己紹介などで時には笑いも起こり、その緊張は次第に溶けていきました。この緊張感を見ていると自分が入会した当時を思い出しました。あれから早3年の月日が経ちましたが今ではすっかり竹の子会に魅力され、良い仲間や先輩、

後輩の方々にめぐり逢えたのを光栄に思う毎日です。

第63期は堀会長のスローガン『報恩謝徳を胸に！～感謝で高める結束力～』をもとに、より素晴らしい竹の子会になるよう新入会員を全力でサポートして更に盛り上げていきたいと思います。



例会(総会懇親会)

日時：平成30年 7月20日(金) 場所：大垣フォーラムホテル



親睦委員会
委員長

蒲田 晃二

みなさんこんにちは、63期親睦委員長の蒲田です。

今回私は63期の最初の例会である総会懇親会を担当させていただきました。

私は62期では親睦渉外長期委員会の副委員長を務めさせてもらいましたので中途半端な知識があり、以前やったことをなぞればいいのか、事業の内容的に消化事業と置いてナメていました。しかし先輩方から総会懇親会というのは62期の常任たちへのお疲れ様でしたの意味と63期の堀会長の門出を盛り上げるという意味だということを教えて頂きました。そして消化事業だと思っていた自分が情けなくて恥ずかしく思えました。それからは考え方を改めて一生懸命準備を進めていきました。

一番大変だったのは特別会員の席次を作ることで

した。特別会員の名前は知っていても何期なのか、ということまでは考えたこともありませんでした。また席次にも「上」、「下」があるということが勉強になりました。

事業当日は司会をやらせてもらったのですが、普段長い文を喋る機会がないため、上手く進行をたたくてリハーサルで実際に会場のマイクで台本を読みあげました。実際に広い会場で練習するのと家で練習をするのとは勝手が違いました。本番では台本通りにいかない箇所もありましたが、リハーサルで練習しておいたので落ち着いて進行をすることができました。

司会をやってみて思ったのですが、華やかには見えるけど司会は裏方なんだなあと思いました。計画段階で特別会員と関わりを持てた分、本当は特別会員とお話したかったのですが、司会台から動けなかったで全くお話ができませんでした。

しかし後日「司会うまかったね」というお言葉を何人かから頂き、非常に嬉しい思いをしました。

63期の総会懇親会は1回目の例会として当初の目的を達成できたと思いますし、個人的にも嬉しい気持ちになれたので満足することができました。



例会（水門川万灯流し）

日時：平成30年8月4日（土） 場所：水門川一帯



大垣市青年の
つどい協議会
副会長
渡邊 光輝

皆様こんにちは。第57期入会の渡邊光輝です。今期は第47期大垣市青年のつどい協議会で副会長を、そして第34回水門川万灯流しの実行委員長を務めております。この事業を開催するにあたり、当会から事務局長に嶋大将君、部会長に橋本諭くん、実行委員会に川上祐輔君という、これからの竹の子会を引っ張っていく頼もしいメンバーに恵まれたことは私にとって大変大きな支えとなりました。私自身が彼らに引っ張られるように実行委員会の打ち合わせも熱を運び、つどい協議会の加盟団体の皆様のお力添えを頂いたおかげで事前制作教室では296基の万灯、当日制作教室では104基の万灯を制作し、当初の目標であった400基の万灯を100%達成することができました。

今年は市制100周年記念事業の「手筒花火と和太鼓競演」とのコラボレーションにより、万灯の流し出しを例年よりも30分遅い夜7時に流し出しを行ったことで、夜の水門川を沢山の万灯で照らし、幻想的な光景を演出することができました。多くの皆様に大垣の夏の風物詩を楽しんで頂き、私が描いていたイメージ通りの光景となりました。

また、水門川のすぐそばでゆっくりと流れる万灯

を眺めている人々の情景は、今回のテーマ「希望の灯り～ふるさとの伝統と文化を未来へ紡ぐために～」そのものであり、これから先も紡いでいかなければならない大切な事業であることを再認識して頂くことができました。流し出しを遅くすることで不安もありましたが、例年よりも参加者が多く、大垣市制100周年に相応しい大盛況で事業を無事に終わることができました。

当日は酷暑の中、長時間に渡りつどい協議会の加盟団体の皆様には大変お世話になりました。その中でも母体である竹の子会員の団結力と行動力には「感謝」の言葉以上に思い浮かぶ言葉がありません。その中でも私が一番感謝しているのは事務局長を務めて頂きました嶋大将君です。今回の事業は嶋君という大黒柱が無ければ成り立ちませんでした。彼の頑張りが橋本君を、川上君を、そして私を始めこの事業に関わる全ての皆様の活力を高めていったおかげで、今回の大成功があると思います。本当にありがとうございました。

最後になりますが、打ち上げ会場に入る時の「みーつてる！」コールの大合唱は、疲れた体と心に沁み渡る大変心地良いものでした。あのコールを生涯忘れることはありません。本当にありがとうございました。



新人会員の自己紹介



奉仕委員会
青木 大輔

第63期より大垣竹の子会に入会させていただきました、青木大輔と申します。

私は大垣市出身で34歳になります。内装業を自分でやりだして14年になります。はじめは不安ばかりでしたが、取引先の方々や家族に支えられて少しずつ成長できております。

竹の子会の方々にご縁をいただいて、入会させていただき経験したことがないことばかりですが、精

一杯努力していきたいと思います。

また、竹の子会の様々な活動を通じて、会の先輩方や、他団体の方々と親睦を深めるとともに、自分自身も成長出来るよう学びの場とさせていただきたいと思います。積極的に活動に参加させていただき、1日でも早く竹の子会の力になれるよう精進してまいりますので、ご指導のほどよろしく申し上げます。



親睦委員会
日比 篤彦

第63期より大垣竹の子会に入会させて頂きました、日比篤彦です。

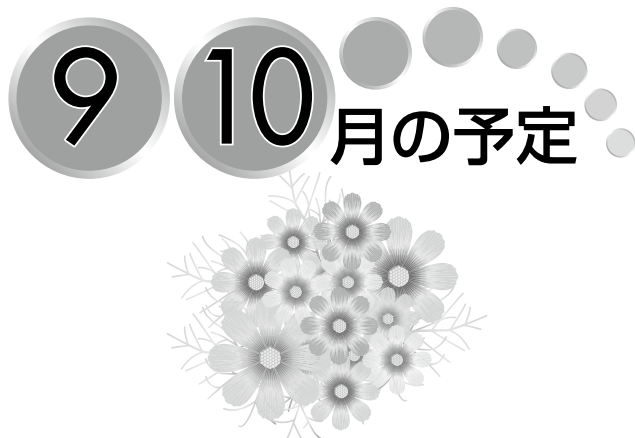
私は産まれも育ちも大垣という事もあり、大垣という町にたいして昔から何か特別な思い入れがございます。

現在大垣市内にて、家屋解体、外溝、エクステリア等の施工、管理をやらせて頂いております。

竹の子会が行っている社会奉仕、地域発展行事などいままで自分には無縁だと思っていたので今

回知人に声をかけてもらい、新しい世界に飛び込んだ気持ちです。会員の方々も様々な職種の方々がおみえで竹の子会でしかお会いする事ができなかっただろう方々もいると思います。なのでこのような機会をあたえてもらい皆様に感謝しております。

まだまだ、わからない事ばかりですが、竹の子会の先輩方から声をかけて頂きながら微力ではございますが、何かお役にたてればと思っていますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



みどりの街づくり写生大会

日にち：平成30年 9 月29日（土）

場 所：大垣公園

交通遺児チャリティーゴルフ大会

日にち：平成30年10月 4 日（木）

場 所：大垣カントリークラブ

講師例会

日にち：平成30年 9 月21日（金）

場 所：大垣市青年の家

十万石ふるさとまつり

日にち：平成30年10月 7 日（日）

場 所：大垣駅通り一帯